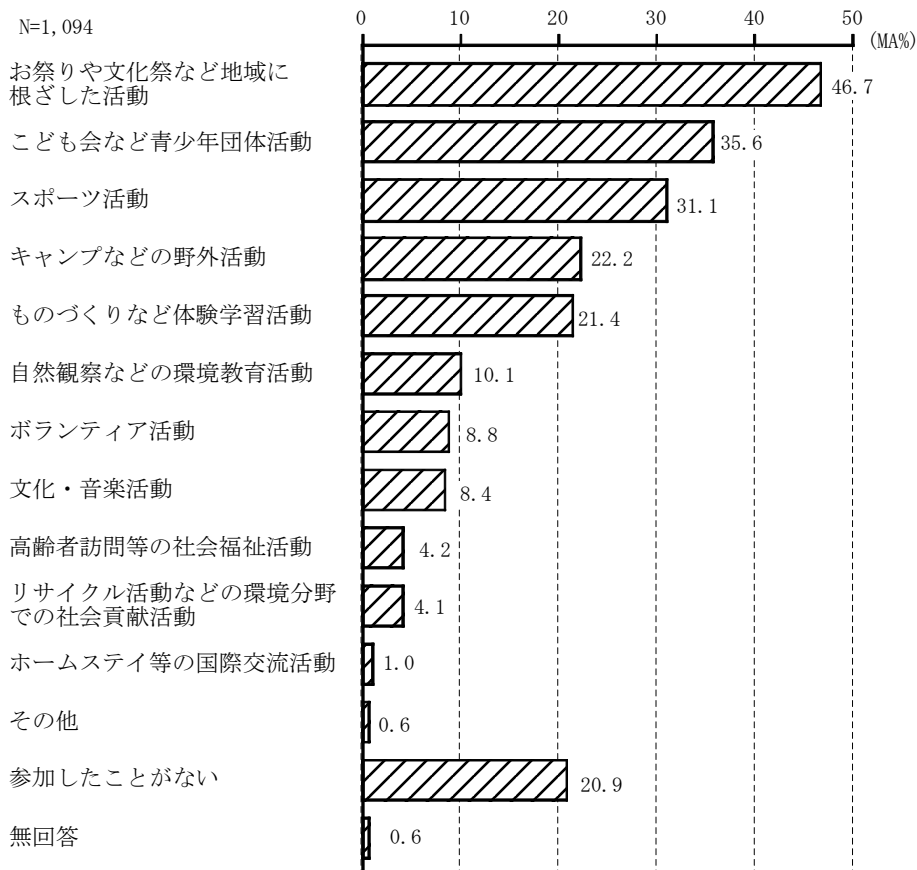


〔 8 〕 地域活動への参加状況

（ 1 ） 参加したことのある活動

問 1 3 あて名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。参加したことがある地域活動やグループ活動について、あてはまるものすべてを選んで○をおつけください。

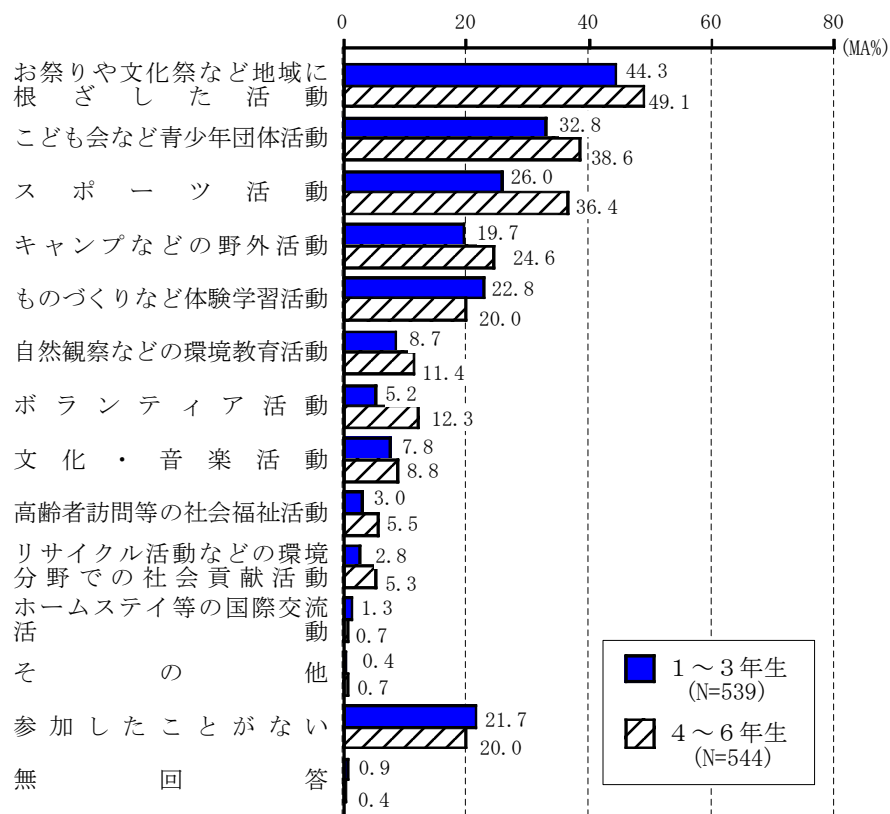
図表 8-1-1



参加した活動は、多い順で「お祭りや文化祭など地域に根ざした活動」が 46.7%、「子ども会など青少年団体活動」が 35.6%、「スポーツ活動」が 31.1%となっている（図表 8-1-1）。

参加したことのある活動を学年別に見た場合、低学年、高学年とも各々「お祭りや文化祭など地域に根ざした活動」（44.3%、49.1%）、「子ども会など青少年団体活動」（32.8%、38.6%）、「スポーツ活動」（26.0%、36.4%）の順で高くなっている（図表 8-1-2）。

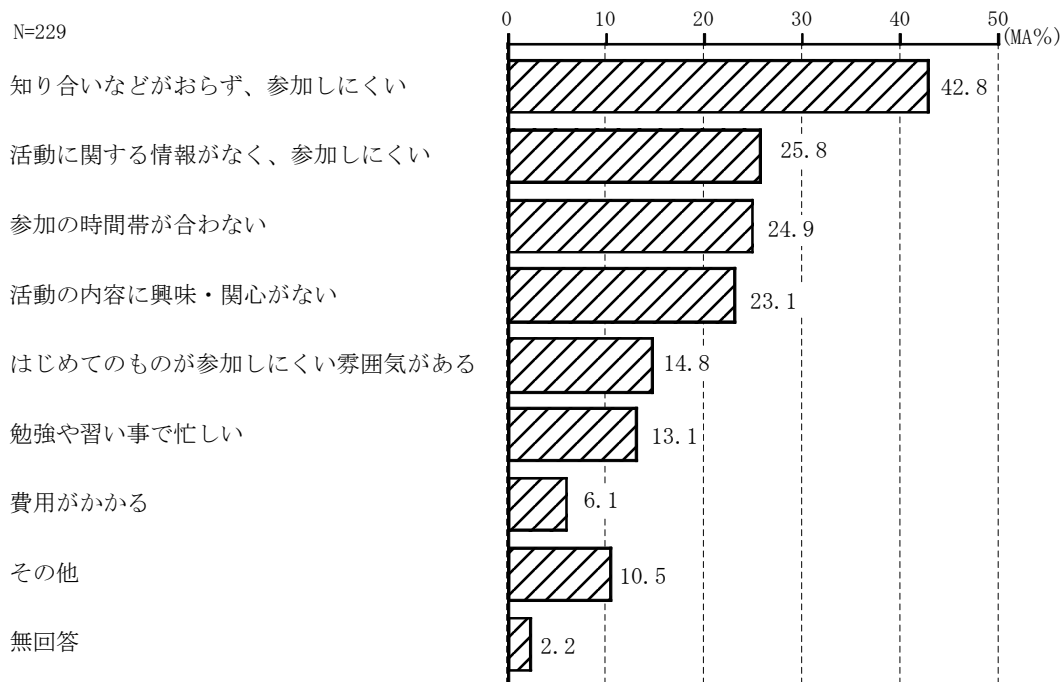
図表 8-1-2 参加したことがある活動（学年別）



(2) 活動への非参加理由

問 1 3 - 1 上記の活動のうち、お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

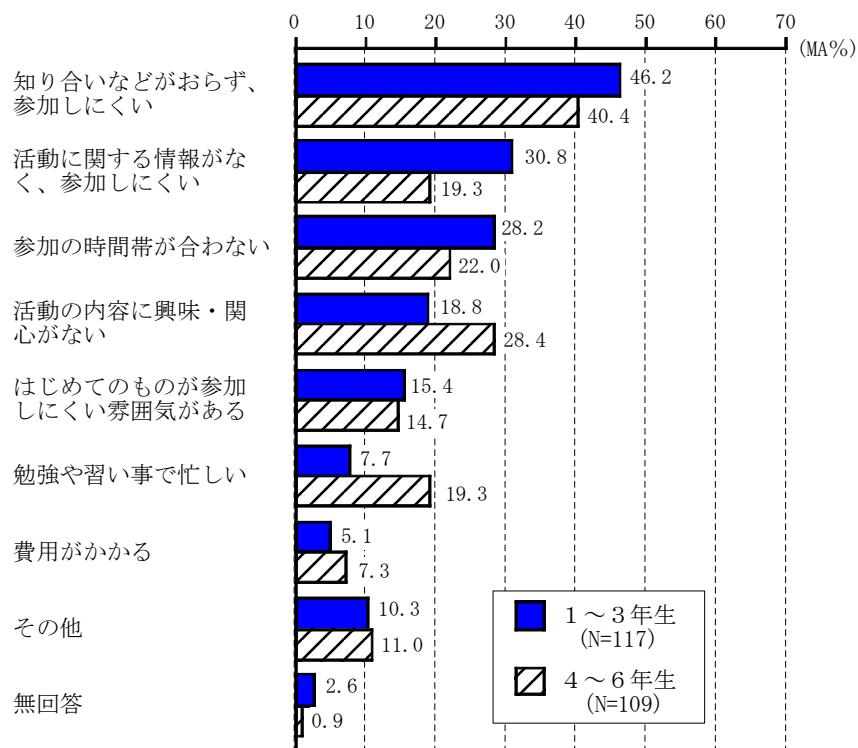
図表 8-2-1



活動への非参加理由として挙げられる上位3項目は、「知り合いなどがおらず、参加しにくい」(42.8%)、「活動に関する情報がなく、参加しにくい」(25.8%)、「参加の時間帯が合わない」(24.9%)となっている(図表 8-2-1)。

活動への非参加理由を学年別でみると、1～3年生は「知り合いなどがおらず、参加しにくい」が46.2%で最も多く、次いで「活動に関する情報がなく、参加しにくい」(30.8%)、「参加の時間帯が合わない」(28.2%)となっている。4～6年生は「知り合いなどがおらず、参加しにくい」(40.4%)、「活動の内容に興味・関心がない」(28.4%)、「活動に関する情報がなく、参加しにくい」「勉強や習い事で忙しい」(ともに19.3%)の順になっている(図表 8-2-2)。

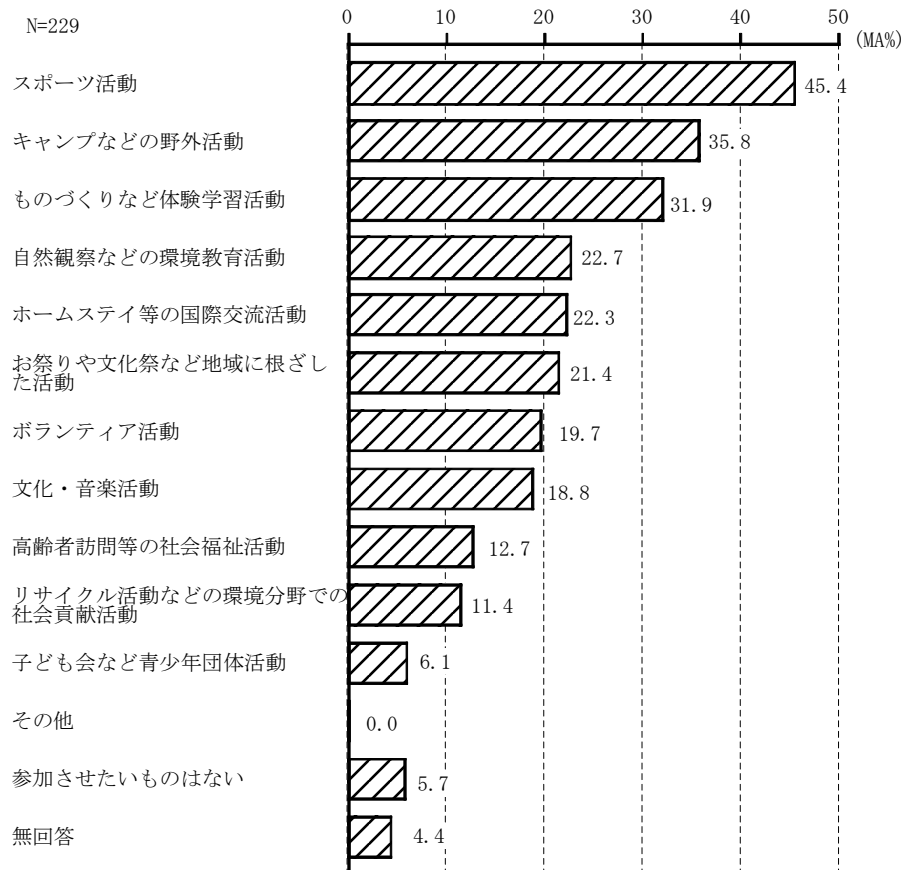
図表 8-2-2 活動への非参加理由（学年別）



(3) 参加させたいと考えている活動

問 1 3 - 2 お子さんが参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている地域活動やグループ活動について、あてはまるものをすべて選んで○をおつけください。

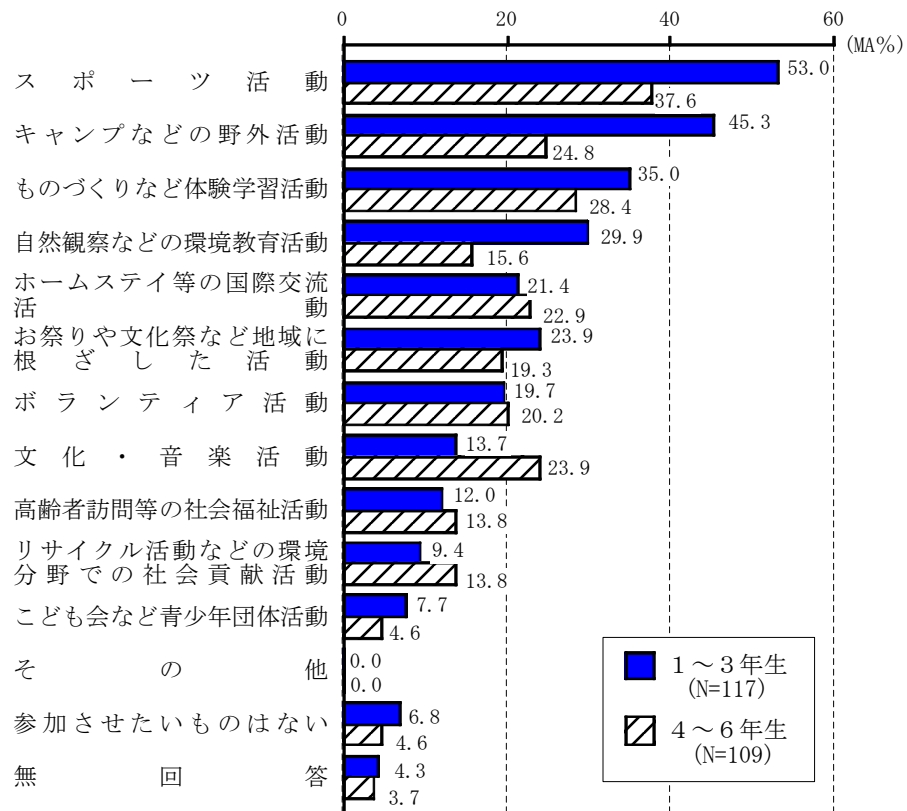
図表 8-3-1



参加させたいと考えている活動は、「スポーツ活動」が 45.4%で最も高く、次いで「キャンプなどの野外活動」(35.8%)、「ものづくりなど体験学習活動」(31.9%)の順で人気が高い(図表 8-3-1)。

参加させたいと考えている活動を、学年別で見た場合、1～3年生は「スポーツ活動」(53.0%)、「キャンプ等の野外活動」(45.3%)、「ものづくりなどの体験学習活動」(35.0%)の順で割合が高いが、4～6年生は「スポーツ活動」(37.6%)、「ものづくりなどの体験学習活動」(28.4%)、「キャンプ等の野外活動」(24.8%)となっている(図表 8-3-2)。

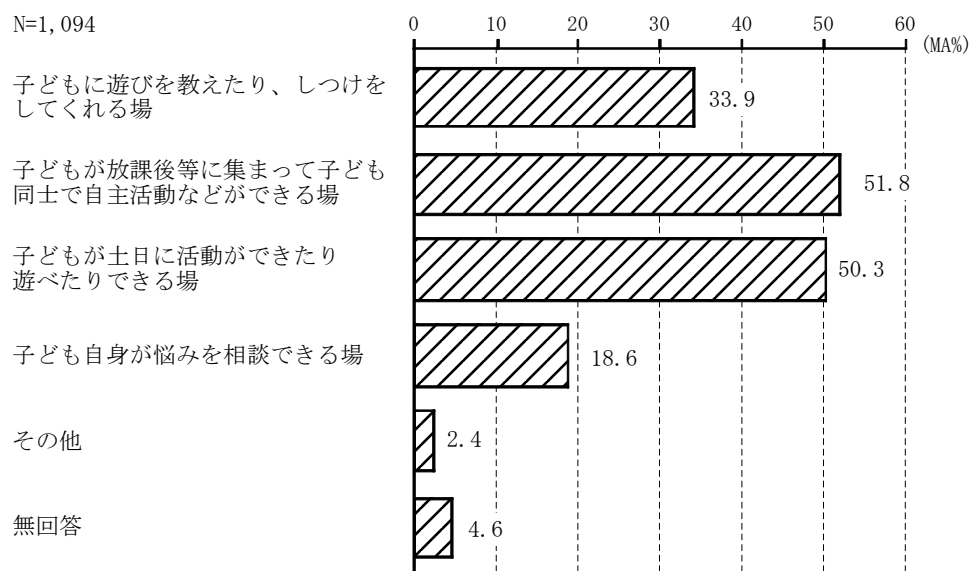
図表 8-3-2 参加させたいと考えている活動（学年別）



〔9〕子ども同士が交流できる場で望ましいもの

問 1 4 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○をおつけください。

図表 9-1

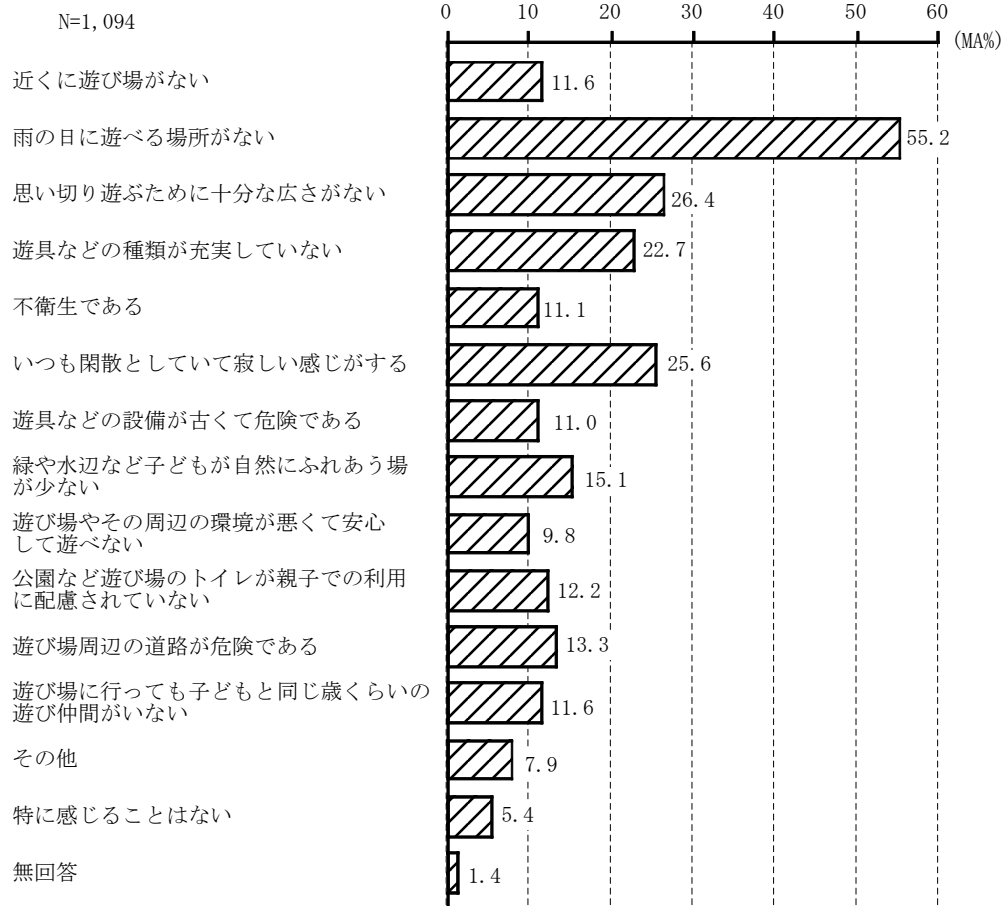


子ども同士が交流できる場で望ましいものとして、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が51.8%で最も多く、次いで僅差で「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」(50.3%)、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」(33.9%)が並ぶ(図表 9-1)。

〔10〕子どもの遊び場で日頃感じていること

問 1 5 地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。あてはまるものを3つまで選んで○をおつけください。

図表 10-1



子どもの遊び場で日頃感じていることは、「雨の日に遊べる場所がない」が 55.2%で最も多く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(26.4%)、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」(25.6%)の順となっている(図表 10-1)。

小学校区別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」が概ね第1位となっている(図表 10-2)。

図表 10-2 子どもの遊び場で日頃感じていること（小学校区別・上位5項目）

(%)

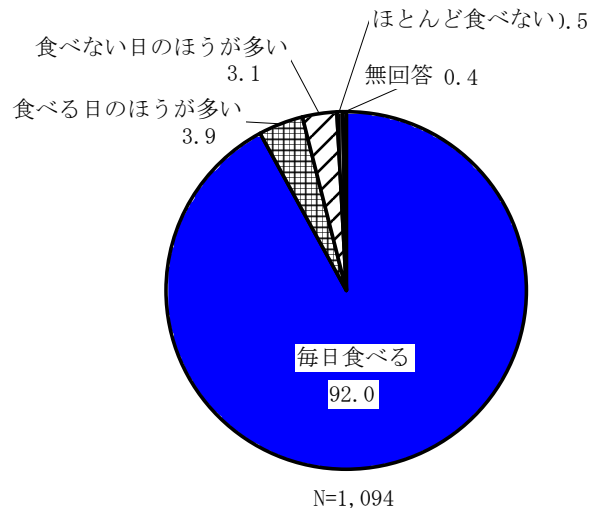
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
箕面小学校区 (N=94)	雨の日に遊べる場所がない 60.6	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 29.8	いつも閑散としていて寂し い感じがする 23.4	遊具などの種類が充実して いない 19.1	遊び場に行っても子どもと 同じ歳くらいの遊び仲間が いない 16.0
止々呂美小学校 区 (N=5)	近くに遊び場がない 60.0	雨の日に遊べる場所がない 40.0	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 40.0	遊具などの種類が充実して いない 40.0	
萱野小学校区 (N=85)	雨の日に遊べる場所がない 48.2	遊具などの種類が充実して いない 27.1	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 21.2	緑や水辺など子どもが自然 にふれあう場が少ない 15.3	公園など遊び場のトイレが 親子での利用に配慮されて いない／遊び場周辺の道路 が危険である 14.1
北小学校区 (N=47)	雨の日に遊べる場所がない 51.1	遊具などの種類が充実して いない 31.9	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 25.5	いつも閑散としていて寂し い感じがする 25.5	遊具などの設備が古くて危 険である 19.1
南小学校区 (N=76)	雨の日に遊べる場所がない 56.6	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 40.8	いつも閑散としていて寂し い感じがする 30.3	公園など遊び場のトイレが 親子での利用に配慮されて いない 21.1	緑や水辺など子どもが自然 にふれあう場が少ない 17.1
西小学校区 (N=146)	雨の日に遊べる場所がない 53.4	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 30.8	いつも閑散としていて寂し い感じがする 21.9	遊具などの種類が充実して いない 19.9	近くに遊び場がない 16.4
東小学校区 (N=115)	雨の日に遊べる場所がない 55.7	いつも閑散としていて寂し い感じがする 33.0	遊具などの種類が充実して いない 25.2	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 18.3	遊び場に行っても子どもと 同じ歳くらいの遊び仲間が いない 16.5
西南小学校区 (N=108)	雨の日に遊べる場所がない 55.6	いつも閑散としていて寂し い感じがする 33.3	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 30.6	遊具などの種類が充実して いない 20.4	緑や水辺など子どもが自然 にふれあう場が少ない 19.4
萱野東小学校区 (N=88)	雨の日に遊べる場所がない 58.0	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 38.6	いつも閑散としていて寂し い感じがする 30.7	遊び場周辺の道路が危険で ある 21.6	緑や水辺など子どもが自然 にふれあう場が少ない 20.5
豊川北小学校区 (N=68)	雨の日に遊べる場所がない 54.4	いつも閑散としていて寂し い感じがする 30.9	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 25.0	遊具などの種類が充実して いない 22.1	近くに遊び場がない 17.6
中小学校区 (N=71)	雨の日に遊べる場所がない 53.5	遊具などの種類が充実して いない 32.4	公園など遊び場のトイレが 親子での利用に配慮されて いない 22.5	いつも閑散としていて寂し い感じがする 18.3	遊び場やその周辺の環境が 悪くて安心して遊べない 16.9
豊川南小学校区 (N=133)	雨の日に遊べる場所がない 56.4	遊具などの種類が充実して いない 31.6	いつも閑散としていて寂し い感じがする 25.6	緑や水辺など子どもが自然 にふれあう場が少ない 25.6	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 18.0
萱野北小学校区 (N=53)	雨の日に遊べる場所がない 58.5	思い切り遊ぶために十分な 広さがない 22.6	いつも閑散としていて寂し い感じがする 22.6	近くに遊び場がない 17.0	遊び場周辺の道路が危険で ある 15.1

〔11〕子どもの健康などについて

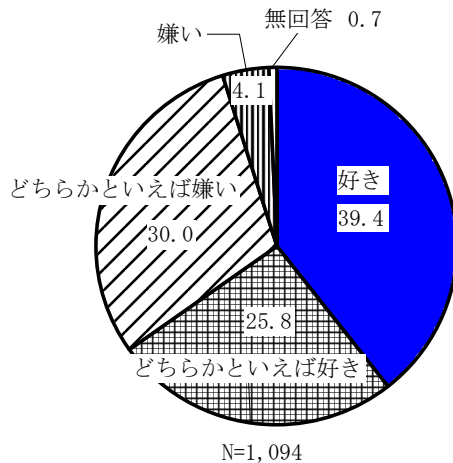
（１）食生活

問１６ お子さんのふだんの食生活についておうかがいします。

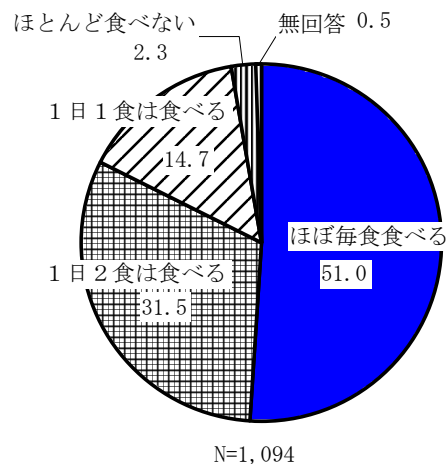
図表 11-1-1 【朝食を食べますか。】



図表 11-1-2 【野菜は好きですか。】



図表 11-1-3 【野菜を食べますか。】



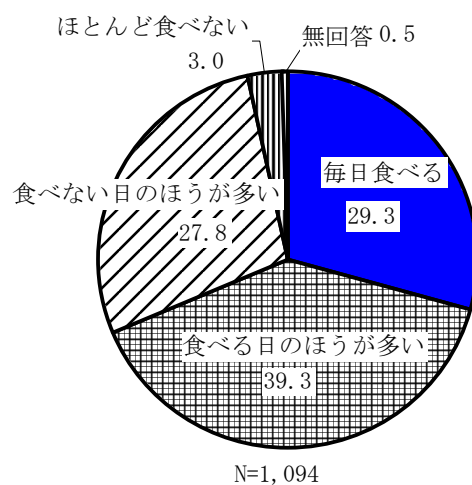
朝食を「毎日食べる」と答えた人が全体の 92.0 となっている（図表 11-1-1）。

野菜の好き嫌いについて、「好き」が 39.4%、「どちらかといえば好き」が 25.8%で好きという児童が 65.2%を占めるのに対し、嫌い（「どちらかといえば嫌い」30.0%と「嫌い」4.1%の合計）が 34.1%となっている（図表 11-1-2）。

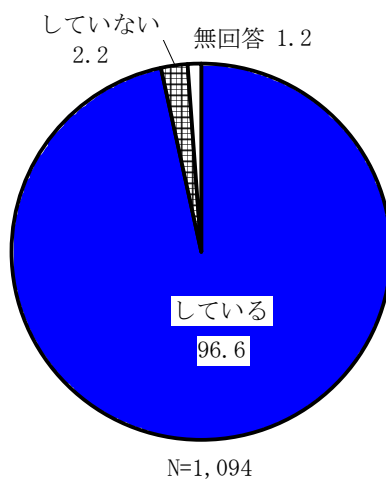
野菜の摂取について「ほぼ毎日食べる」と答えた人は半数であるのに対し、「1日1食は食べる」（14.7%）と「ほとんど食べない」（2.3%）は合わせて 17.0%で、野菜の摂取量が少ない児童も5人に1人となっている（図表 11-1-3）。

問 1 6 お子さんのふだんの食生活についておうかがいします。

図表 11-1-4 【果物を食べますか。】



図表 11-1-5 【一日一回は家族と一緒に食事をしていますか。】



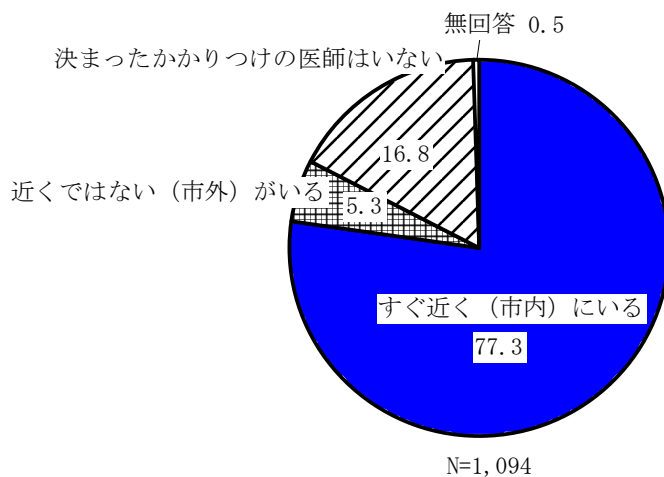
ふだんの食生活で、果物を「食べる日のほうが多い」は 39.3%で最も多く、次いで「毎日食べる」(29.3%) となっている(図表 11-1-4)。

1 日 1 回は家族との食事をするについて、ほとんどの人が「している」(96.6%) と答えている(図表 11-1-5)。

(2) かかりつけ医の有無

問 1 7 お子さんにはかかりつけの医師はいますか。

図表 11-2-1



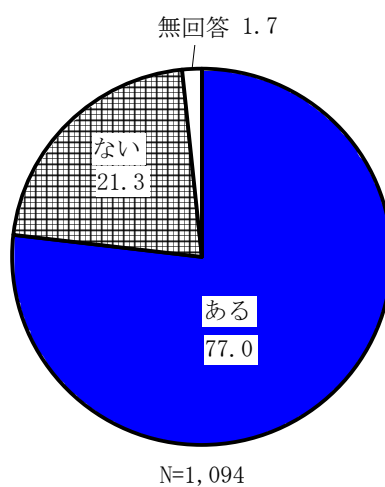
子どものかかりつけ医師については、「すぐ近く（市内）にいる」が 77.3%で大多数を占める（図表 11-2-1）。

(3) 夜間・休日の急病時、医療機関の必要性を感じた経験

(ア) 必要性を感じた経験の有無

問 1 8 夜間や休日に、お子さんが急病などにより、医療機関の必要性を感じた経験はありますか。

図表 11-3-1

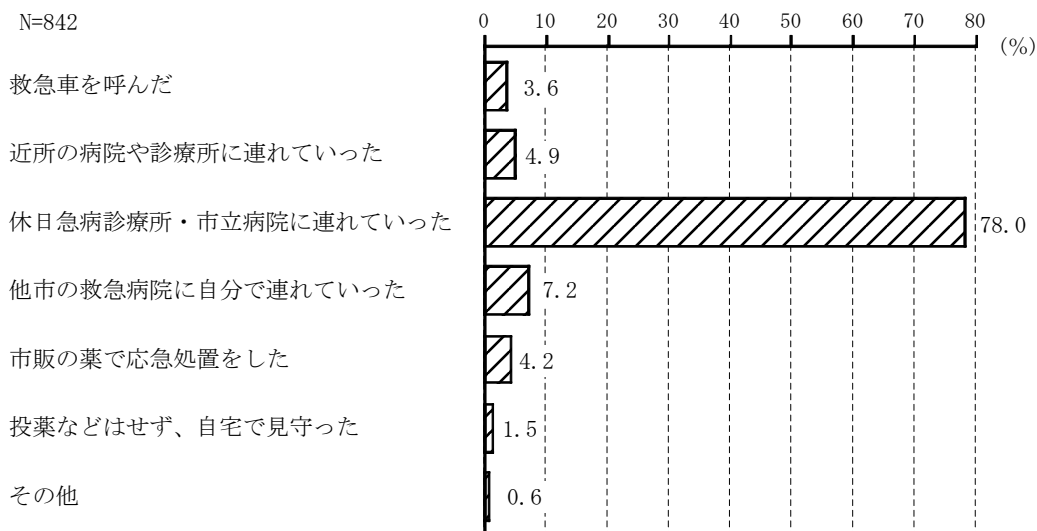


夜間・休日の急病時、医療機関の必要性が「ある」と答えた人は 77.0%で高い(図表 11-3-1)。

(イ) 対応方法

問 1 8 - 1 その時どのようにしましたか。あてはまるものを1つ選んで○をおつけください。

図表 11-3-2

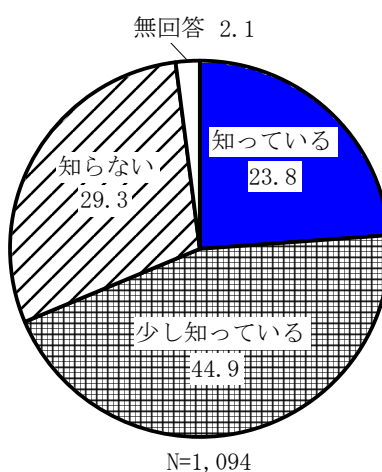


子どもが急病時の対応は、「休日急病診療所・市立病院に連れていった」が最も高い 78.0% となっている（図表 11-3-2）。

(4) 心肺蘇生法の認知状況

問 1 9 あなたは、心肺蘇生法（心臓マッサージや人工呼吸）をご存知ですか。

図表 11-4-1



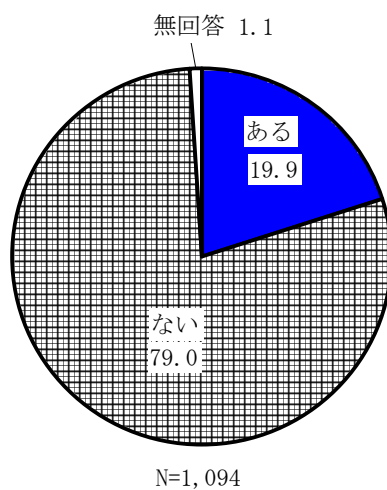
心肺蘇生法に対する知名度は 68.7% となっている（図表 11-4-1）。

(5) 子どもの成長で他の子どもとの違いがあると気になったこと

(ア) 気になったことの有無

問 2 0 お子さんの成長に他のお子さんとの違いがあると気になったことはありますか。

図表 11-5-1

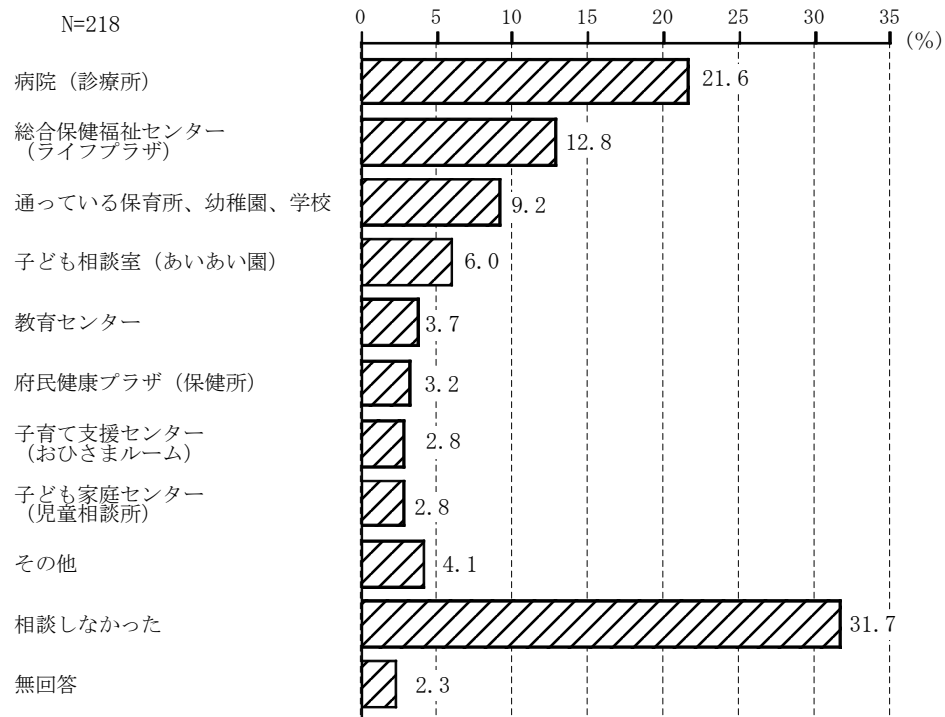


他の子どもとの違いを気になったことはないと答えた保護者が 79.0%で、気になったことがあるは 19.9%となっている（図表 11-5-1）。

(イ) その際の相談窓口

問 20-1 どこかで相談されましたか。主な窓口を1つ選んで○をおつけください。

図表 11-5-2

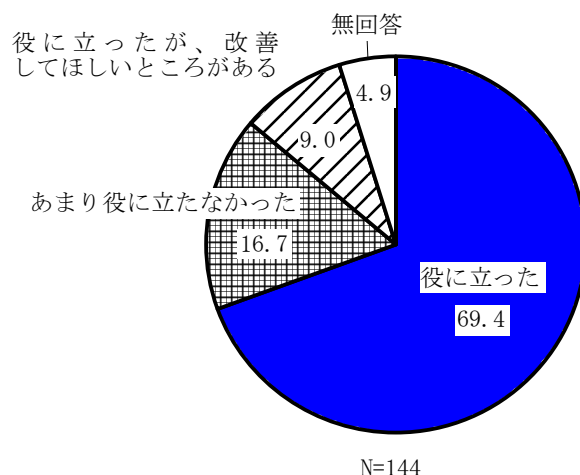


自分の子どもが他の子どもとの違いに気づいたときの相談先として、「病院（診療所）」が 21.6%で多く、次いで「総合保健福祉センター」の 12.8%となっているが、「相談しなかった」が 31.7%となっている（図表 11-5-2）。

(ウ) 相談機関の対応に対する感想

問 20-2 相談機関の対応についてどのように感じましたか。

図表 11-5-3



相談機関の対応に対する感想として、「役に立った」が 69.4%で最も多いが、「あまり役に立たなかった」(16.7%)、「役に立ったが、改善してほしいところがある」(9.0%) という意見も 4 人に 1 人を占めている (図表 11-5-3)。

「あまり役に立たなかった」もしくは「役に立ったが、改善してほしいところがある」の具体的な内容は次のとおりである。

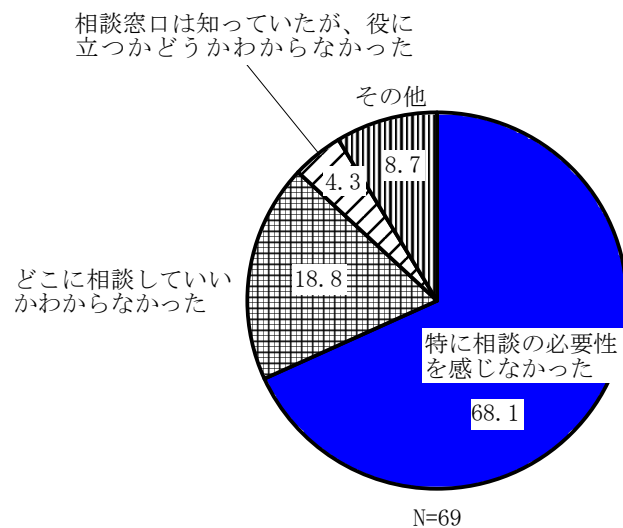
「あまり役に立たなかった」具体的内容	件数
医師の対応が悪かった・冷たかった。	4
具体的にどうすればよいのか分からなかった。	4
たいして改善・解決しなかった。	2
かえって神経質になった。	2
説明があいまいで分かりにくかった。	2

「役に立ったが、改善して欲しいところがある」具体的内容	件数
対応が事務的。	2
医師の対応が悪かった・冷たかった。	2
悲観的に言われて傷ついた。	2
後日のフォローが欲しかった。	2
平均数値的な返答をされたことがある。もっと詳しい説明を求めると「医者でないのによくわからない」と言われた。答えられない質問なら最初から安易に相談にのるべきではないと思う。	1
予約までに時間がかかる。学校への直接の働きかけがしてもらえない。	1
電話での相談は真意が伝わらないことも多いので、できるだけ相談してほしい。	1
病院によって対応が違うこと、リハビリ施設の不足など。	1

(エ) 相談しなかった理由

問 20-3 相談しなかった理由は何ですか。

図表 11-5-4



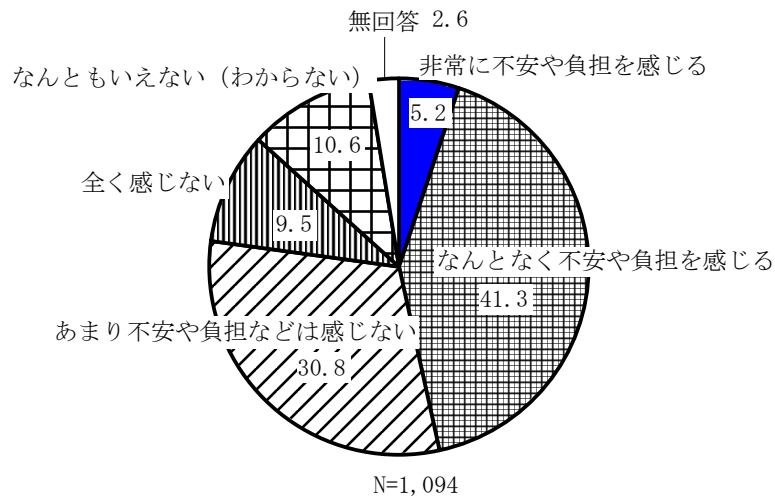
相談しなかった理由は「特に相談の必要性を感じなかった」が 68.1%で最も多く、次いで「どこに相談していいかわからなかった」が 18.8%、「相談窓口は知っていたが、役に立つかわからなかった」が 4.3%となっている（図表 11-5-4）。

〔12〕子育て全般に対する意識や態度について

（１）子育てに関する不安感や負担感等の有無

問 2 1 子育てに関して不安感や負担感等はお感じですか。次の中から 1 つだけ選んで○をおつけください。

図表 12-1-1

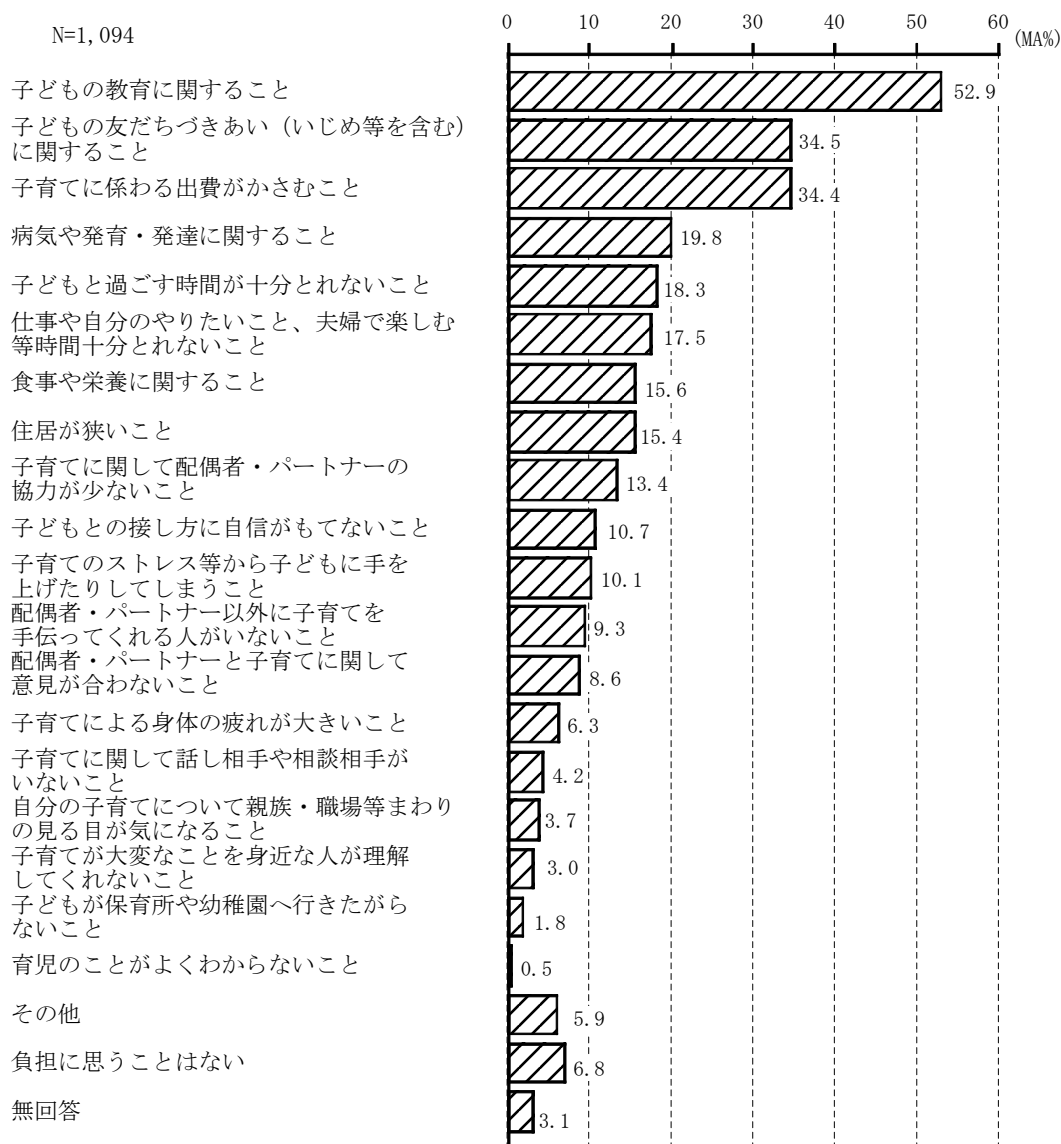


子育てに関して、「なんとなく不安や負担を感じる」が 41.3%、「あまり不安や負担などは感じない」が 30.8%となっている。何らかの不安や負担を感じる人（「非常に不安を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）は全体の 46.5%を占める（図表 12-1-1）。

(2) 子育てに関する悩み・不安の内容

問22 子育てに関して、日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。あてはまるものすべてを選んで○をおつけください。

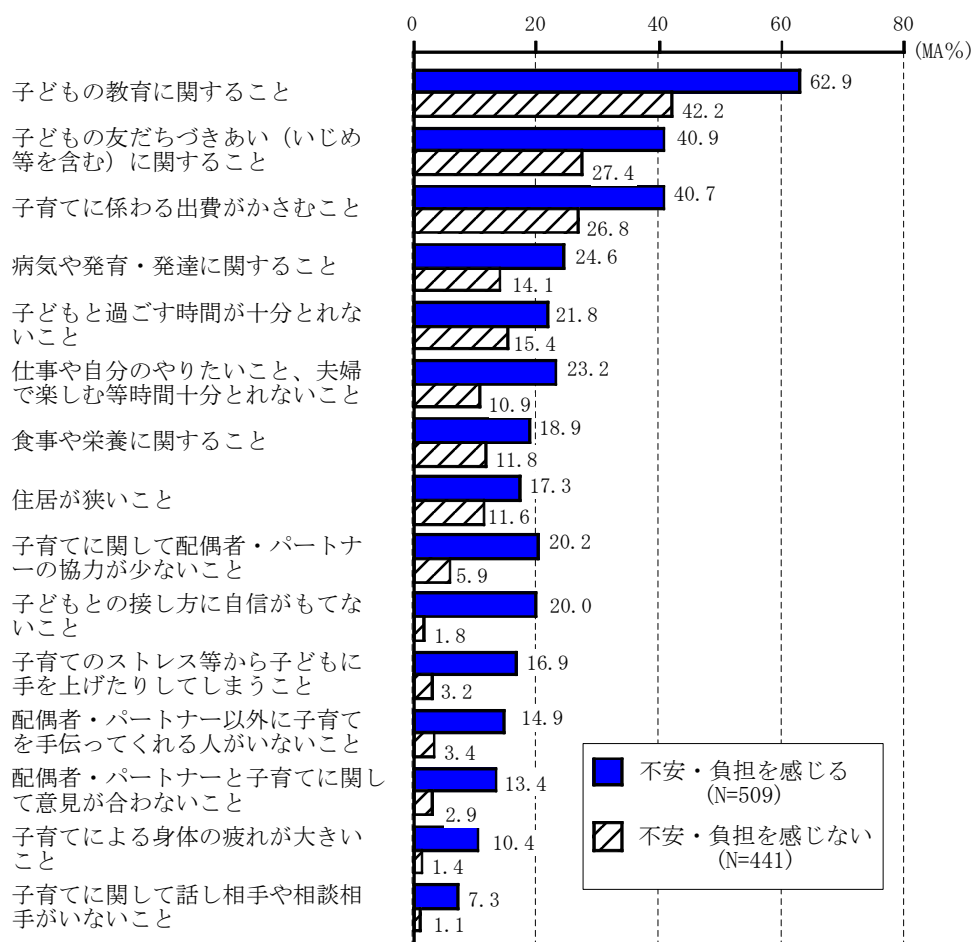
図表 12-2-1



子育てに関する悩みとして、「子どもの教育に関すること」が 52.9%で最も多く、次いで「子どもの友だちづきあい (いじめ等を含む) に関すること」(34.5%)、「子育てに係る出費がかさむこと」(34.4%) の順となっている (図表 12-2-1)。

子育てに関する悩み・不安の内容は、子育てに不安・負担を感じる人の割合が、感じない人に比べいずれも高い。両者とも「子どもの教育に関すること」(62.9%、42.4%) が第1位となっており、次いで「子どもの友だちづきあい (いじめ等を含む) に関すること」(40.9%、27.4%)、「子育てに係る出費がかさむこと」(40.7%、26.8%) の順になっている (図表 12-2-2)。

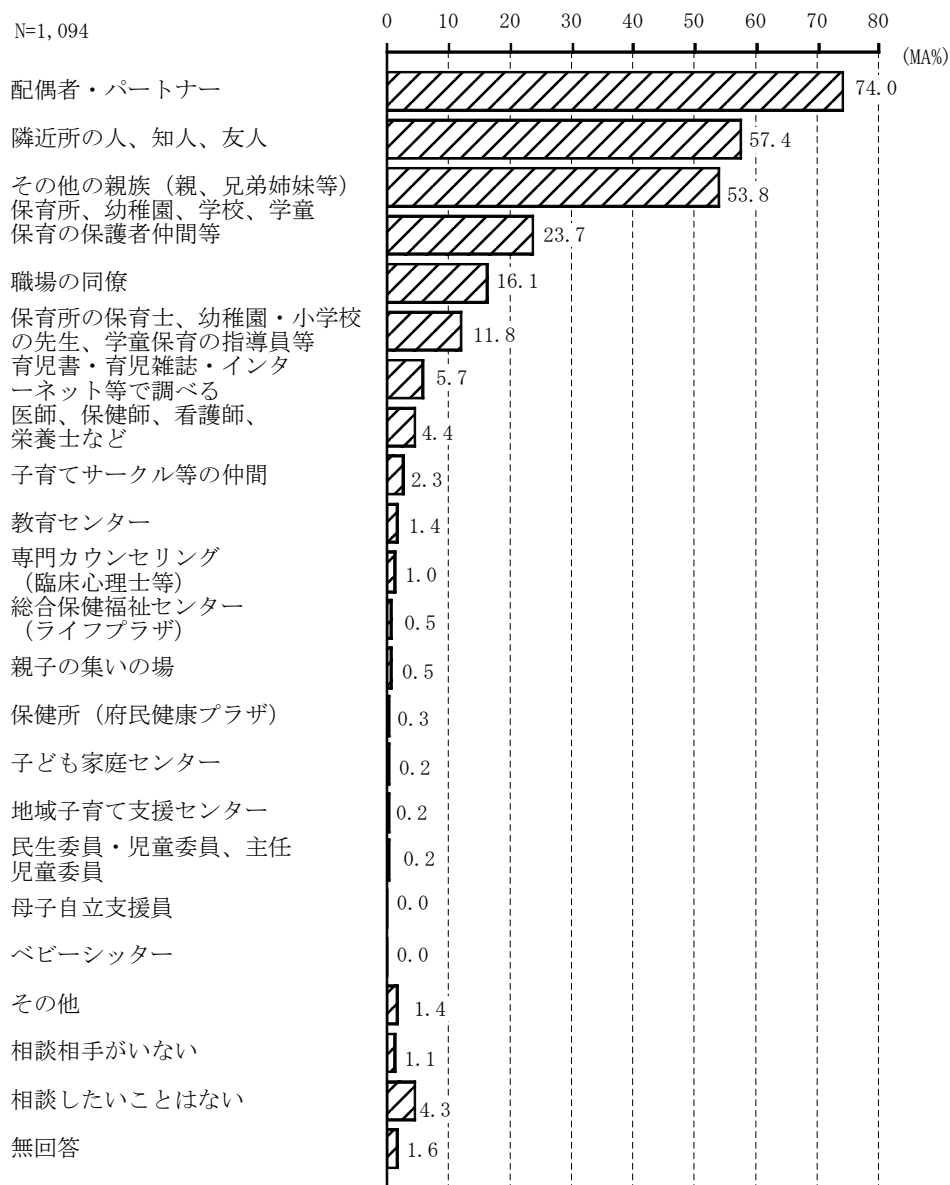
図表 12-2-2 子育てに関する悩み・不安の内容（子育てに対する負担感の有無別・上位 15 項目）



(3) 子育てに関する悩み・不安の相談相手

問23 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していらっしゃいますか。あてはまるものすべてを選んで○をおつけください。

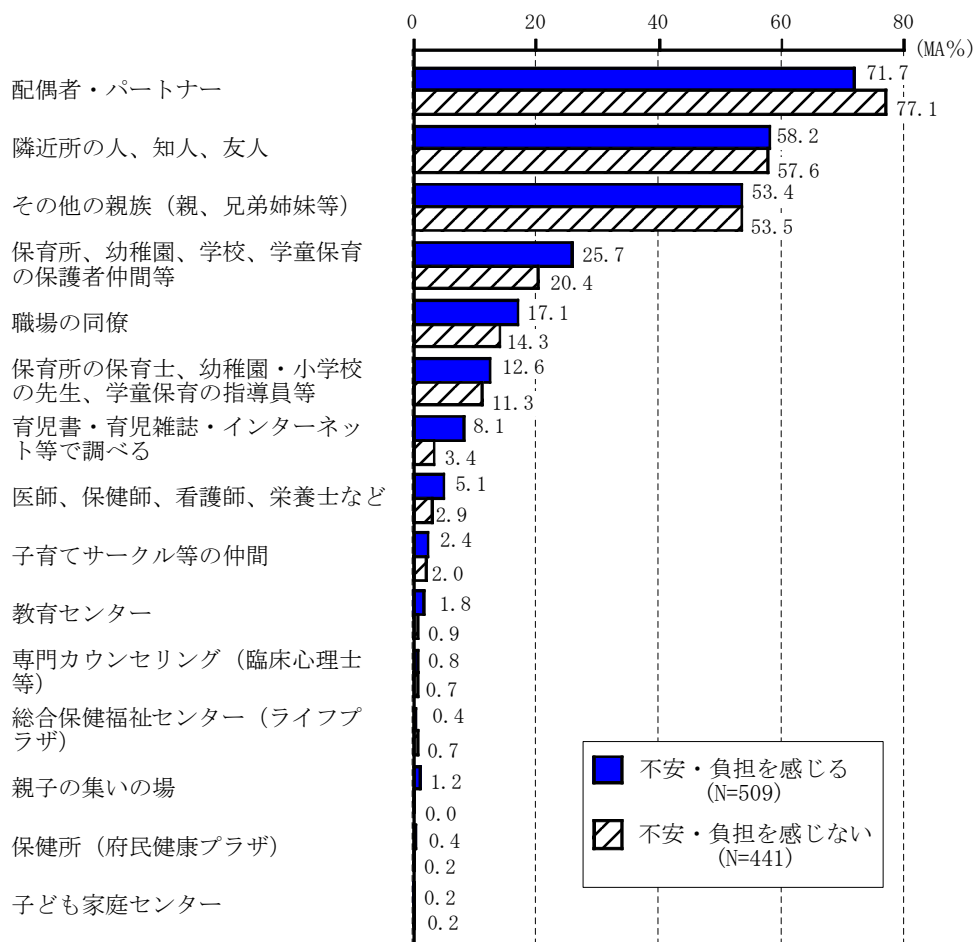
図表 12-1-4



子育ての悩み・不安の相談相手は、「配偶者・パートナー」が74.0%で最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」(57.4%)、「その他の親族（親、兄弟姉妹等）」(53.8%)となっている。専門的な相談窓口や地域子育て支援センター、民生委員・児童委員など地域に根ざした相談窓口の利用は低い（図表 12-1-4）。

子育てに関する悩み・不安の相談相手は、子育てに不安や負担を感じる、感じないに関係なく、「配偶者・パートナー」(71.7%、77.1%)が第1位となっており、次いで「隣近所の人、知人、友人」(58.2%、57.6%)、「その他の親族（親、兄弟姉妹等）」(53.4%、53.5%)の順になっている（図表 12-1-5）。

図表 12-1-5 子育てに関する悩み・不安の相談相手（子育てに対する負担感の有無別・上位 15 項目）

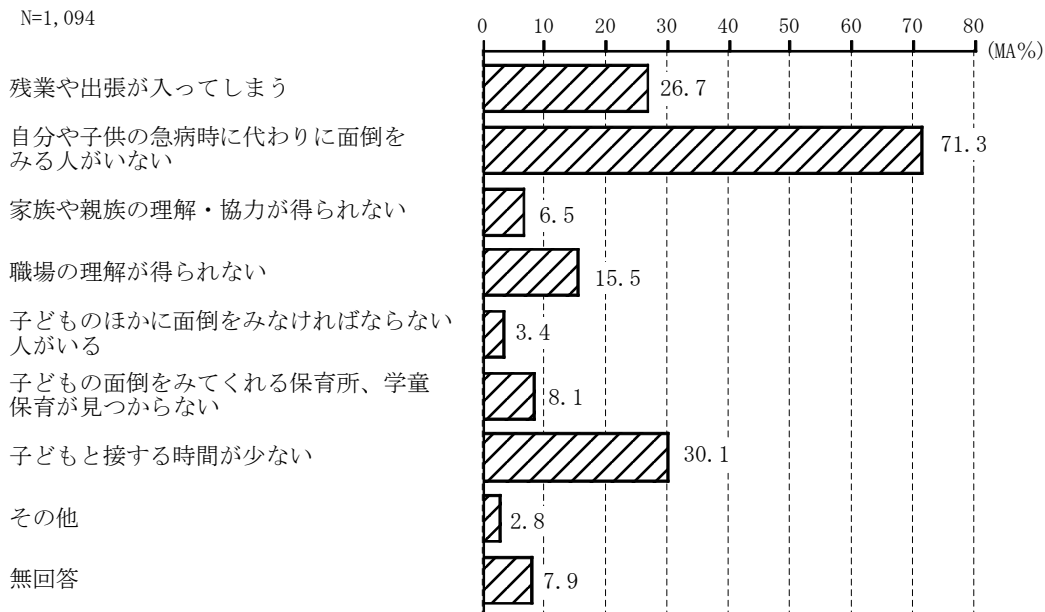


〔13〕 仕事と家庭との両立支援について

（１）仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること

問 2 4 一般に保育の必要な子どものいる家庭の方が仕事をしようとする場合に、仕事と子育てを両立させる上で大変だ、または大変だろうと覚ることは何ですか。自分の意見に最も近いものを2つまで選んで○をおつけください。

図表 13-1-1



仕事と家庭の両立で大変だと覚ることは、「子どもや自分が病気・けがをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいない」が71.3%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の30.1%、「残業や出張が入ってしまう」の26.7%となっている（図表 13-1-1）。

仕事と子育ての両立を大変だと覚る内容を就労状況別にみた場合、「子どもや自分が病気・けがをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいない」が「父親のみ就労」世帯と「共働き」世帯において7割を占める（図表 13-1-2）。

図表 13-1-2 仕事と子育てを両立させる上で大変だと覚ること（就労状況別）

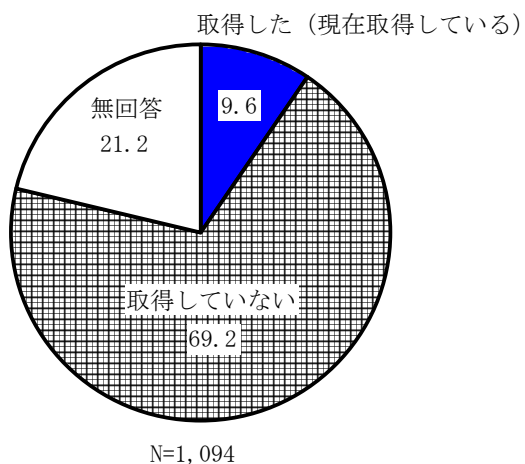
		(MA%)								
	N	残業や出張が入ってしまう	自分や子供の急病時に代わりに面倒をみる人がいない	家族や親族の理解・協力が得られない	職場の理解が得られない	子どものほかに面倒をみなければならない人がいる	子どもの面倒をみってくれる保育所、学童保育が見つからない	子どもと接する時間が少ない	その他	無回答
母親のみ就労	22	36.4	54.5	18.2	13.6	9.1	-	9.1	9.1	13.6
父親のみ就労	483	23.2	74.7	8.1	18.2	3.9	6.8	31.7	2.9	7.7
共働き	431	28.8	71.2	4.9	14.2	2.8	10.2	29.0	1.9	7.0
その他	3	-	66.7	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-

(2) 育児休業制度の取得状況（取得予定）

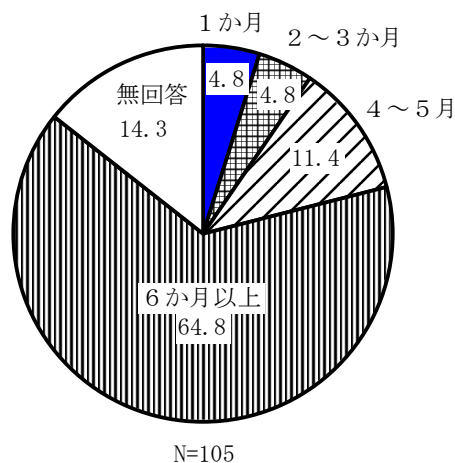
(ア) 取得状況（期間）

問 2 5 調査対象のお子さんが生まれた時、育児休業の取得状況と、取得した（している）場合は取得（予定）期間、取得していない場合はその理由についてお答えください。母親、父親それぞれについてご記入ください。

図表 13-2-1 【母親の取得状況】



図表 13-2-2 【母親の取得期間】



【父親の取得状況】

回答者 1,094 人中、「取得した（現在取得している）」0.1%、「取得していない」83.6%、取得者の取得期間不明（無回答）

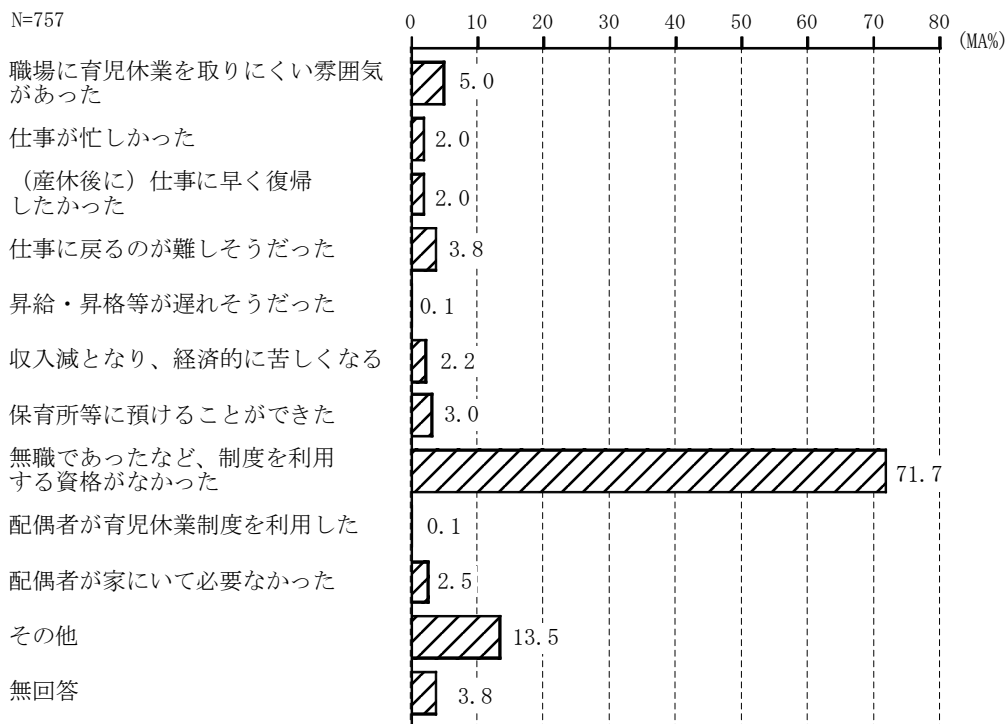
育児休業の取得状況を母親についてみると、「取得していない」が69.2%で、「取得した」は9.6%と1割に満たない（図表 13-2-1）。

取得期間については、「6ヶ月以上」が64.8%ともっとも高い（図表 13-2-2）。

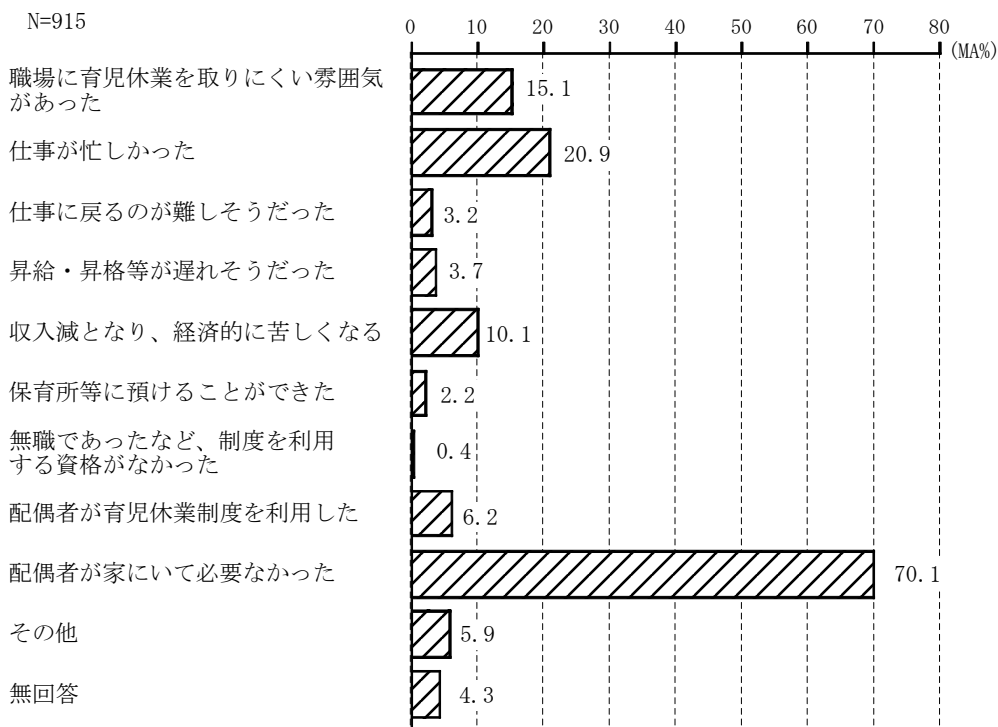
(イ) 取得していない理由

問 2 5 調査対象のお子さんが生まれた時、育児休業の取得状況と、取得した（している）場合は取得（予定）期間、取得していない場合はその理由についてお答えください。母親、父親それぞれについてご記入ください。

図表 13-2-3 【母親の取得していない理由】



図表 13-2-4 【父親の取得していない理由】



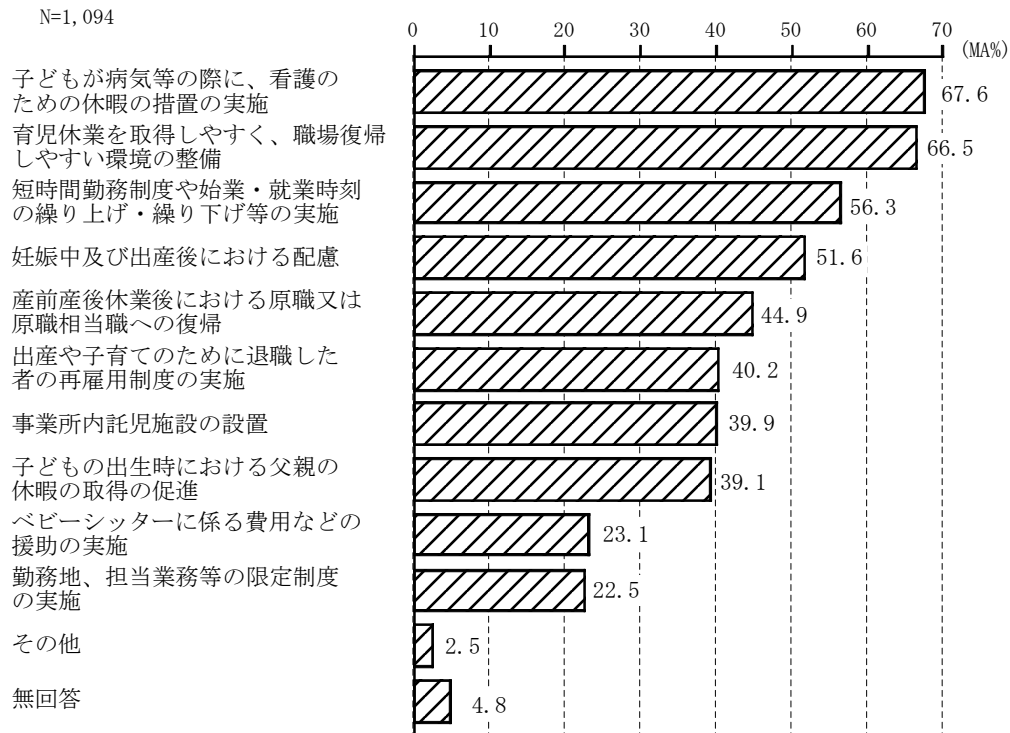
母親の取得していない理由は、「無職であったなど、制度を利用する資格がない」が 71.7%で、専業主婦がほとんどである（図表 13-2-3）。

父親の取得していない理由は、「配偶者が家にいて必要ない」が 70.1%で最も多く、父親は就労、母親は非就労で家にいて子育てを担当する家庭が多い（図表 13-2-4）。

(3) 仕事と子育ての両立支援のために職場に求めること

問26 男女が共に仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることについて、あてはまるものすべてを選んで○をおつけください。(現在、働いていない場合も、必要だと思われるものをお答えください。)

図表 13-3-1



仕事と子育ての両立支援のために職場に求めることは、高い順から「子どもが病気等の際に、看護のための休暇の措置の実施」(67.6%)、「育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備」(66.5%)、「短時間勤務制度や始業・就業時刻の繰り上げ・繰り下げ、フレックスタイム制等の実施」(56.3%)となっている(図表 13-3-1)。

仕事と子育ての両立支援のため職場に求める内容を就労状況別にみた場合、「母親のみ就労」世帯、「父親のみ就労」世帯ともに、「子どもが病気等の際に、看護のための休暇の措置の実施」(50.0%、68.5%)が、「共働き」世帯は「育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備」(70.5%)が最も高い割合となっている(図表 13-3-2)。

図表 13-3-2 仕事と子育ての両立支援のために職場に求めること（就労状況別）

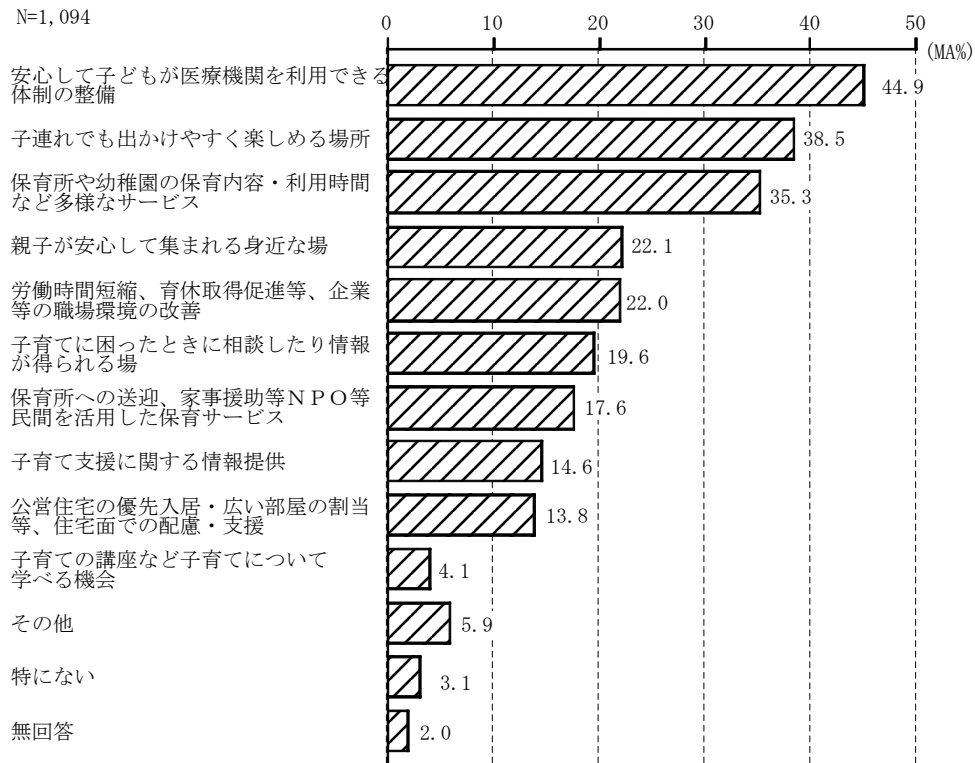
(MA%)

	N	妊娠中及び出産後における配慮	産前産後休業後における原職又は原職相当職への復帰	子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進	育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備	短時間勤務制度や始業・就業時刻の繰り上げ・繰り下げ等の実施	事業所内託児施設の設置	ベビーシッターに係る費用などの援助の実施	子どもが病気等の際に、看護のための休暇の措置の実施	勤務地、担当業務等の限定制度の実施	出産や子育てのために退職した者の再雇用制度の実施	その他	無回答
母親のみ就労	22	45.5	40.9	27.3	40.9	36.4	27.3	9.1	50.0	9.1	31.8	-	22.7
父親のみ就労	483	53.0	43.3	38.9	65.6	54.2	41.0	22.4	68.5	21.7	40.8	2.3	5.0
共働き	431	52.0	49.2	41.5	70.5	58.9	39.7	23.7	69.8	24.8	40.1	3.5	3.2
その他	3	66.7	66.7	33.3	100.0	66.7	66.7	33.3	100.0	33.3	66.7	-	-

〔14〕子育てをしやすくするために充実すべきこと

問 2 7 あなたが箕面市で子育てをしていく上で、どのようなものが充実すれば、子育てがしやすくなると思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をおつけください。

図表 14-1



子育てのために充実すべきことは、「安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」が 44.9%、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」（38.5%）、「保育所や幼稚園の保育内容・利用時間など多様なサービス」（35.3%）の順で高くなっている（図表 14-1）。